

平成 29 年度第 1 回 高知市生活習慣病予防に関する協議会議事録

日時：平成 29 年 5 月 30 日  
18 時 30 分～20 時 30 分  
場所：総合あんしんセンター  
3 階中会議室

1 開会

2 議事

- (1) 『高知市いきいき健康チャレンジ 2016』の評価について

[事務局] 資料説明

【森田会長】

『高知市いきいき健康チャレンジ 2016』経過の説明があったが、何か質問または意見はないか。

【寺尾委員】

高知家健康パスポートについては、(高知家健康づくり薬局に来たときは)健康相談をして欲しい。高知家健康づくり支援薬局に来るだけでなく、何か一言二言相談してくれないとシールを渡せないと言っている。すると、いろいろ話し出して相談のきっかけになる。今日もそういった方がいた。その方は 40 代だったが、高知家健康支援薬局でもヘルシーポイントシールを貰えることを喜んでいたので、関心度は高まってきていると思う。

今までと同じく、皆さんと協力できることはやっていきたいと思っている。よろしくお願ひしたい。

【森田会長】

最初のお一人がでたので、協会けんぽの上原さんはどうか。

【上原委員】

資料にもあるが、60 歳代 70 歳代の方の参加がすごく多い。協会けんぽもそうだが、働き盛りの男性の死亡が多いという現状がある。課題でもあげられたが、働き盛りの年代の方にいかに多く参加していただけるか。そこを協力していただければいいと思った。

【森田会長】

確かに 60 歳代 70 歳代の参加が多い。年代的にも健康に関心があると言うところもあるが、意外と 50 歳代の男性も参加している。50 歳代にもどんどん参加していただけたらと思う。あと、歯科の関係はどうか。

【長山委員】

最初、私も 40 歳代男性なので、こういう取組にどれだけの人が関心を持つかな、と思った。正直私自身が参加すると言われると、多分しないだろうなと思ってしまう。どれだけ集まるか不安だったが、意外と多くの方が参加されて驚いた。2 回目の表彰の時に挨拶したが、健康に関心が高い人たちが集まっているので、当然健康に関することをやると盛り上がるとすごく感じた。

次に課題があるとすれば、健康に関心がない人にどうアプローチをするかと言うことが次のステップになってくると感じた。

【森田会長】

確かにおっしゃるとおりだと思う。それに関連してご意見、当日の感想など何かないか。食生活改善推進協議会さんも当日は野菜の重量当てでの参加だったが、感想などないか。

【近藤委員】

ヘルスメイトの参加が少なかったから、今年は頑張ってヘルスメイトがもう少し参加するようにしたい。人数見ても少なかった。よく活動してくれている人は参加している。今年はもう少し勧誘していきたい。

【森田会長】

スポーツ・運動については岡田委員、またスポーツ振興課から、ご意見はないか。

【岡田副会長】

話の流れからいくと関心のない人にどうアピールするか。関心のある人は私の指導でも勝手に来る。その切り口は私の課題でもあるので、皆さんと考えていきたい。

長山委員が 30 回噛むという話をしていたが、テレビでも、芸能人が 30 回必ず噛んで健康に役立っているという話を聞いて、また思い出してあれから 30 回噛むようにしている。だから簡単なことは耳に残りやすいと思う。あの講義を聞いて、30 回噛むことで健康に、そう思った人がたくさんいるだろう。簡単に長く続けられる事がいいと思う。

【森田会長】

関心のない人をいかに呼び込むか。40、50 代という年代への働きかけといったことが、キーワードで出てきたように思う。岡田委員からの意見があったように、簡単な事は耳に残りやすい。いきいき健康チャレンジの説明にも、やる事が 2 つだけ、あの部分がいいなと思う。いくつもあつたらわかららないし、どれも出来ないみたいなことになる。やる事は 2 つだけというのは非常に取り組みやすいのかなあと私も思った。他には何か、こんなふうにしたら、もっと参加が増えるのではないかといった意見はないか。

【窪委員】

2016 年のいきいき健康チャレンジをどうやって知ったかなど、そういうアンケートはとっているか。もしくは次に呼びかけるにして、前回はどういうきっかけでこれを知って取り組むようにしたかを聞くというのがあればまた参考になるのかなと思った。私はいきいき健康チャレンジに参加してなくて、そし

たら、他の委員はエントリーしていたと知り焦った。考えが甘かった、やらないといけなかったと思ったが、そういう参加する意識を持って行くきっかけが皆さん何だったのか。もしわかるようなら教えてほしい。

**【事務局】**

今ご指摘いただいた件については、アンケートとして去年度はとっていなかったのですが、またイベント等についていろいろな形で情報収集できるように検討したいと思う。

**【森田会長】**

どうやって知ったかというところのアンケートをとる。貴重なご意見をいただいた。他にはないか。一つ目の議事についてはこのあたりにしたい。

(2) 『高知市いきいき健康チャレンジ 2017』の今後の展開について

意見交換

**【森田会長】**

『高知市いきいき健康チャレンジ 2017』の今後の展開について説明があったが、何か質問または意見はないか？

**【寺尾委員】**

効果的な広報・PR方法の検討でいうと、商工会議所にも婦人部があり経営者の方とか特に健康でないといけない、と関心度が高い。また従業員も健康でないといけないと関心度が高いと思う。高知市の商工会議所の婦人部はものすごく活発に活動していると思う。そちらの方にPRしてはどうか。

**【森田会長】**

高知市商工会議所へのPRについてご意見をもらった。他には何か、取り組みの中身を詳しく聞きたいとか、こんなところを頑張っているから宣伝したらとか、ご意見はないか。

高知市いきいき健康チャレンジの取り組みは去年から始めているが、今年さらに追加になった部分がある。こういう事は口コミで広がるのがとてもいいので、それぞれの団体でお話するときに、もう少し聞いておいた方がいいところは、ないか。

一つにはヘルシーポイントシールが30枚貰えるというのは非常にインパクトが強かった。続けて書類を提出するというのは、毎日の行動が伴っているというところで、それだけのポイントが、30枚が付くという事か。

**【事務局】**

高知市は昨年度から地道な毎日の生活習慣改善や健康づくりの取組など、そういった取組の評価をしていくということでやっていた。高知県のこれまでの健康パスポートのヘルシーポイントシールは、どち

らかというジムに通う、登録しているイベントなどに出向くなどしてヘルシーポイントシールを取得するものだった。日々歩いている人とかが、健康づくりの取組では、ポイントシールを取得しにくいというような、いろいろなご意見もあったという事だった。

それを踏まえて、高知県から市町村に、日々の健康づくりの取組を反映できるような事業を、健康パスポートと連動して考えてみて欲しいという提案があった。高知市はやっているので今年から30枚という形にさせてもらった。

**【森田会長】**

日々の取組を評価してもらえるのはうれしい。他にはないか。

**【長山委員】**

この協議会の題目が生活習慣予防に関する協議会ということだが、いきいき健康チャレンジだけの話になっているような気がするので、もっと別枠で言うと、テレビで健康寿命が長い長野県の特集が組まれていた。長野県のやっている取り組みの中に、高知県もそうだが、共働きの多いので外食産業が発達している県である。長野県の中で外食店に対して、いろんな基準を設けてその基準をクリアした店だけに高知市のように評価を与える。ランクを味ではなく健康な食材を使って提供されている食事ですといったようなものをお墨付きで与えていく。外出が多い方はそういう所を回れば比較的健康的な生活を送れるのではないかという事をやっていて、すごく面白い取り組みだと思った。大変な事だと思う。時間をかけて作り上げてきた長野県のシステムだったので、高知市も外食が多いので参考にしていっていいのではと思った。全然関係のない話ですみません。

**【森田会長】**

関連して寺尾委員にもお願いしたい。

**【寺尾委員】**

昨日の高知新聞に載っていたので読んだ方もいると思うが、龍馬パスポートにチャレンジしている県外の方で、龍馬パスポートの参加店に行って食事をするとポイントが貰えるという事で県外からわざわざ来られていたが、その決まったメニュー以外はだめということでちょっとクレームというか、松山の方だったと思うが声ひろばに載っていた。あまりかたいことを言わずに、せっかく県外から来られているとかわざわざ来ているという事も考えて欲しい。

先ほど長山委員がおっしゃっていたように、私自身が病気をしてカロリーの事が気になるので、メニューにカロリーの目安を表示して欲しい。外食をしたらカロリーはどれぐらいになるのか、日頃の意識が大事だと思う。メニューにカロリーが表示されると本人も自覚できると思う。

**【事務局】**

長山委員からのご提案については私どもも高知市いきいき健康チャレンジについても、ご意見をいただきたいが、高知市全体の生活習慣の改善の取組や、各団体の健康づくりについて、また地域づくりについては、今後も検討をしていきたいと課内で話をしていて、後半部分では皆さんの取組を共有する中で

いろんな提案があればという願いを込めて発表をお願いしているところもある。

寺尾委員のおっしゃるように、パッケージになっているものはお弁当もカロリーを提示することがあったとしても、レストランやファミレスとかいう部分ではまだ全部ではない。高知県も血圧に取り組んでいる企業とかいろいろな取り組みをやっているの、高知県とも確認しながらこういった会でも検討して、私たちだけでなく皆さんの方からもお力をいただいて検討できたらと思う。

**【堀川所長】**

以前県がやっていたように思う。

**【森田会長】**

長野県の取組はメニューにエネルギーとか塩分などを表示するものである。基準を決めてクリアしているメニューにそういったものを表示するという形ではないだろうかと思う。

高知県もずっと以前に国が栄養成分表示を健康のために取り組んでメニューにするというのがあったが、今は独自でやっている店もあるが、そういった評価をして県で取り組むというところにはなっていないと思う。

昨年呉の減塩の話があったが、呉市では減塩というところで薄味のメニューを表示する取組が、そのお店に行けば薄味の物が食べられる。それで家庭の味がどれだけ濃いのか薄いのか確認するという取組があった。

そういった取組も、お声が上がっているようにまた必要になるのではないかと思う。

また県の取組の動向を確認しながら、こんなお声もあがっているとまた何かのところまで話ができたらと思う。

**【柳澤委員】**

先ほどから長野県の話が出ているが、私は長野出身で、長野といっても、地域によってその様子は違っている。さて、高知市いきいき健康チャレンジについて、去年の立ち上がりは非常に危なっかしいと感じた。県が進めてきたから市もやらなくてはいけないという格好で、立ち上がりはものすごく悪いというか、将来が危ぶまれるような立ち上がりだった。9月から事業が始まって、この結果がこれだけでれば上等な経過だと思う。最初の立ち上がりときに手探り状態でやったが、どうにかまとまってこういう結果がでたというのはこの一年間では上等なやり方だと思う。この基礎があるから2017年度は絶対に去年より上にいくことは間違いないと思う。継続させるという事が一番である。

**【森田会長】**

非常に心強い発言をいただいた。一つ事務局から提案があった初回の9月3日のイベントの講演の講師について提案はないか。去年は、宮野先生に講演をしていただいた。スタートイベントの講師としてどういった講師をお願いしたらよいか。いきいき健康チャレンジの趣旨を理解してチャレンジする市民を後押しする講師、初回の講師にふさわしい方ということか。

講演自体は1時間半ですか。10時15分から11時45分までの間。

【寺尾委員】

お金がかからなくて有名な人を呼んだらどうか。ボランティアの気持ちで来てくれそうな人はいないか。

【事務局】

謝礼としていくらかはご用意させていただく。今のところご意見がなければ、また後日でもかまわないのでご意見をいただきたい。

【森田会長】

今年新しく始まる取組で、事業所単位 5 人のグループでの話があったが、これについては高知市の方が入っていたら高知市外の方も大丈夫ということで、いろいろな職場、協議会、法人なんかでもできる。40、50代は職場というのは取り組みとしてはよい方法だと思う。これについてご意見はないか。先ほど商工会の婦人部とか PR できる団体として教えていただいたが、こういう工夫があったらもっと参加できそうとかないか。

【森田会長】

これは昨年そういった声があってプラスしたのか。

【事務局】

実際ご紹介いただいた企業関係に出向いたときに、市外の方もやってみたいとの意見があったし、この協議会でもそういった提案をしていただき、そうする事で高知市民全体の数が上がるのではないかという提案のなかで決めさせていただいた。具体的にここに行けばというところがあれば出向きたいと思うし、今日お越しの皆様方の所属機関においては、ぜひ取り組んでいただけたらと願っている。

【上原委員】

5人一組という事で関心の薄い方もリーダーが引っ張って行ってすごく良いと思ったが、健康パスポートを 40、50代の男性がどれくらい持っているかデータはあるか？というのは、私の職場の 40代男性があまりパスポートに興味がないと言っている。30枚もらえるというのは女性にはうれしいが男性にどこまで響くのか、ちょっと心配ある。そうは言っても、やってみたらよかったというのがあればいいと思う。高知家健康パスポートはどうなのか。あまり使わないという意見も聞くのでそのへんはどうか。

【事務局】

高知県の資料を見たら、ターゲットとしては県も考えている壮年期の方がずいぶん多く持っているという現状をお聞きした。数はわからないが、壮年期の方も持っていらっしゃるということだが、男女の比率は確認して工夫を考えていきたい。

【森田会長】

いきいき健康チャレンジについては、昨年度はいろいろな団体が手を上げてこんなことができるとご協力いただいたが、何かできることがあれば事務局に声をかけていただきたい。

(3) 生活習慣病予防（健康づくり）に関する取組みについて

【森田会長】

議事3の生活習慣病予防，健康づくりに関する取組みについて，今回はそれぞれの団体の取組についてお互いに知らない部分もあったりするし，お話を聞く中で共有できるところもあるのではないかとということで設定をしている。

順番に3～5分の時間で次第の順に報告をお願いしたい。

① 高知検診クリニック

【窪委員】

高知検診クリニックで保健師をしている。当施設は人間ドッグと生活習慣病予防健診を主にしている。年間40000人弱の方が生活習慣病予防に関する健診を受診している。血液検査の結果は当日出るので、医師から直接コレステロールや血糖などの血液検査結果と、生活に対する注意を全員にしている。管理栄養士・保健師からは食生活についての指導や生活に関する保健指導を年間約1500人はしている。健保組合で、特定保健指導対象者に、当日保健指導する契約をしている事業所には、動機付け支援・積極的支援あわせて約300人程度実施している。

予防に関しては、直接的に本人にアプローチすることと、今年度から例えば、脂質異常や血圧や血糖の異常のある方で、まず生活習慣の改善を3ヶ月は頑張ってもらい、その後再検査をお勧めする方には、3ヶ月後に文書を送る。書面で再検査について、また更に健康に関する意識を上げて予防してもらうお知らせをするという取組を始めます。

② 全国健康保険協会高知支部

【上原委員】 資料添付

『高知家』健康企業宣言

協会けんぽからのお知らせ 5月号

③ 高知市保険医療課

【川上委員】 資料添付

国保特定健診に関する報告とお願い

平成29年度高知市国保特定健康診査のご案内

④ 高知市歯科医師会

【長山委員】

全身的な健康に対するイベントやお話をしているわけではないが、歯を中心にしたイベントは取り組ませてもらっている。虫歯予防デーを中心とした週に、今年は6月4日にイオンモールで、高知医療センターや高知学園短期大学と各種団体と協力して一日イベント「歯っぴいスマイルフェア」を実施する。ここでは歯に限らず全身的な健康への気付きを皆様に提供している。これは毎年2,000人くらい来場がある。イオンからも喜ばれているイベントの一つである。人を集めるということで、どうや

って集客するかについては、とにかく子ども連れの方が喜ぶことを打出すということで、無料手形コーナーを実施している。午前と午後で100人ずつ、一日200人しか手形をプレゼントできない。このために、朝から開始前から200の方が並んでいる。無料ということもあり、かなりの方が集まってくる。毎年手形をとって家に並べている方もいらっしゃるくらい。

本当はもっともっと伝えなければいけないことがあると思っている。歯の残存数とアルツハイマーの関係だとか、歯の残存指数と健康寿命の関係といった、これらは明らかに優位差が出ているものである。もっとこういうアピールをしていかなければならない団体であると思っているが、今は外向けのアピールができていないので、あまりよくないかなと、これから努力していかなければと考えている。

#### ⑤ 高知県歯科衛生士会

##### 【植田委員】

私たちの団体も主催して県民市民の方にアピールはほとんどしてないが、6月4日のイベントには歯科衛生士会もブースを出す。

以前は歯科関係者だけのイベントがあり手形を目当てに親子が来るということがほとんどだったので、子供を対象に、手形の模型を作って、ブラッシング指導がメインだった。他の団体がブースを出すことによって年齢層が上がり、去年は歯科相談、入れ歯の取り扱い、歯周病の相談してこられる方が多かった。私たちのブースも今までしてなかった口臭チェッカーを使った測定、咬合力の測定という事でちょっと年齢層を上げた対象にすると、私たちのブースに顔を出してくれる方も増えてきた。イベントでどの年齢層に着目するかも大事と思うし、口臭チェッカーも簡易的なものだが数値で分かって自分の平均値であるとかそういう指数で分かるものが県民の方には入ってきやすいのかと思う。

私が日々思うのが、職場の20代、30代の方と話をしても、学生のときは歯科の学校健診があるので年に1回歯科の先生に診ていただき、虫歯や歯周病リスクがあるので歯科医院に行きなさいと学校から手紙をもらうが、社会人になると自分の意思で歯石除去に行ったりとか、歯科医院は痛くないと行かないので、何年も歯石を取っていないとか、虫歯になっているような気がするとかで相談を受けたりする。そういう人たちを対象に痛くなくても予防のための歯科医院ですと話をする。そういう人を対象に歯科衛生士会も予防のための受診を増やしていけたら、そこで歯科医院なりイベント会場でも継続した健康なお口づくりのアドバイスができればいいと考えている。

#### ⑥ 高知市スポーツ振興事業団

##### 【橋本委員】

去年は健康増進や生活習慣病予防を目的とした健康づくり教室を26事業実施した。全部で70~80事業やっている中で、健康づくりを意識した事業も展開している。またその他に中高年を対象としたもの、家族を対象としたイベントなどさまざまなものを実施して、健康増進とかスポーツの習慣をつけるというような教室を実施している。

その他は月に5回トレーニング室で利用講習会を行っている。先に話した教室はスポーツをしたい、スポーツを続けたい方が来られるものが多いが、講習会はこれから運動をしよう、ちょっと運動に興味がある、体重や血圧が気になるという方が一歩踏み込む場としてあるので、そこで継続するために引っ張る、ひきつけるという事がすごく大切だと感じている。



去年は 1007 人の方に事前講習会を受講していただいて、30 代、40 代、50 代が少ないという話があったが、一定数の参加がある。特に男性の参加が多い。その方が継続しているかどうかは調べることができないが、初回に関しては男性が 7 割ぐらいいる。そこで特定健診へ行こう、というようなパンフレットと一緒に渡すことは可能なので、そういうのがあれば本人、ご夫婦、学生とか一緒に巻き込むことができるのではと考えている。

あとはトレーニング講習会に参加した 50 代、60 代の方で、運動のために来るが特に血圧を気にされている方から声がけされるので、高血圧の予防とかのためにもパンフレットや資料と一緒に渡して、スポーツをしてくれる人を広げていけたらと考えている。

## ⑦ 高知県栄養士会

### 【森田会長】

「太るもやせるも食事が基本」のキャッチフレーズでクリアファイルを作成した。生活習慣病予防で高知県栄養士会としては 2 つ用意してきた。

一つが栄養ケア・ステーションという初めて聞く方もいらっしゃると思う。これは高知県栄養士会の中に栄養ケア・ステーションというものがある。「栄養ケア・ステーションは食と栄養を通して県民の皆様の健康づくりを応援するための支援の拠点です」という事で、各都道府県の栄養士会にある。

高知県栄養士会も支援のための拠点という事で、ここに前会長がコーディネーターの役割を担う。具体的にはどんな事を頼めるかという、講話・講演の講師や栄養相談員の派遣、量販店やイベントでの栄養相談など。これは 6 月にフジグラン高知でも実施する。訪問栄養指導は『いのちのスプーン事業』を立ち上げている。また、県市町村への保健事業への協力という事で、離乳食の講習会とか健診時の栄養相談など委託を受けてやっている。特定健診後の特定保健指導については、昨年から栄養士会で保険者の委託を受けて特定保健指導に取り組んでいる。

こういった県民・市民の方々への栄養相談だったり、そういったものの拠点という事で、栄養士会にお願いできないかというようなときに栄養ケア・ステーションにまずは一報いただきたい。

もう一つは「栄養の日」「栄養週間」。日本栄養士会が昨年「栄養の日」「栄養週間」を記念日協会に申請し、この春に登録された。「栄養の日」は語呂あわせで 8 月 4 日、その前後の一週間を「栄養週間」として 8 月 1 日～7 日に決めました。今年からこの日、この週間、あるいは月間で栄養について住民の方に少し栄養に気をつけてもらいたい、そういうきっかけ作りのものとして、それぞれの栄養士のいるところで取り組もうということで、病院でしたら給食の中でやったり館内放送を流したり、それぞれの職域で取り組む。

9 月になるが高知市の 1 回目のイベントのときに「栄養の日」「栄養週間」の宣伝をさせていただけたらと思う。

## ⑧ 高知市農業協同組合

### 【事務局】欠席のため事務局より報告

農業協同組合の組合員の健康について、まず健診を受けていただくなど健康づくりは重要である。7 月 11 日に高知市農協協同組合女性部の組合員の支部長会で、組合員の特定健診受診について・高知市いきいき健康チャレンジの PR をさせていただき、各支部の会でもご案内させていただく

ようにしたい。

#### ⑨ 株式会社サニーマート

【事務局】 欠席のため事務局より報告

高知市からいきいき健康チャレンジ2017のPRを9月にサニーマートの店舗で行わせて欲しいとの依頼があり市内4店舗でのPRを行ってもらうことにしている。

9月はサニーマートでは「減塩」をテーマに各店舗で減塩に関連する商品販売やチラシ作成を行うことになっており、高知市のPR活動の依頼がちょうど9月と言う事なのでこの時に他の協議会団体にも店舗を活用した各団体のPRや健康啓発を行ってはどうか。

高知市からは9月7日～10日の4日間、1日1店舗の計4店舗でのPR活動実施の依頼を受けているので、各団体の都合に合わせて可能な日に参加するのでも構わないと思うので、協議会にご参加の団体の方にも参加してもらい、市民の方々への健康づくりの啓発を行う場としてもらってはどうか。

今直ぐ参加を決定することは難しいと思う。参加の場合は6月中旬までにお返事をいただければと思う。

当日、人員を派遣することが困難な団体もあると思うので、啓発用配布資材などがあれば、配付することも出来る。

意見交換

【森田会長】

今までのところで、ご意見やご質問などはないか。もう少し聞きたいところなどはないか。スポーツ振興事業団の取組は、初めて聞かせてもらったが、男性の参加者が7割を超えるというのは、他の健康づくり事業ではなかなかない、女性が多い事業が多いので、ここは狙い目ではないかと思った。

【事務局】

すてきなご提案ありがとうございます。具体的に血圧が気になるといった高知市の健康課題にも関連したご相談もあるということがわかった。血圧に係る高知県栄養士会さんとか、食生活改善推進協議会さんといったいろいろな所と連携を取らせていただきたいということや、チラシやパンフレットを渡すことができるという、心強いお言葉やご提案もいただき、ぜひ、お渡しさせていただき、お願いしたい。一点質問させていただきたい。協会けんぽさんからの健康企業宣言書も多くの数の企業が宣言している。高知県もこれらの事業所にPRさせていただくということで、高知市にある事業所は高知県と連携しながら、高知市も出向いてアプローチさせていただくことについても、後ほど相談させていただきたい。

【森田会長】

サニーマートでの事業所での9月に1日ずつ4店舗で減塩の取組をされる。その場でのPR活動の

提案もあった。食生活改善推進協議会さんも日頃から減塩についても取組まれているが、活動についてはどうか。

【近藤委員】

8月31日は野菜の日である。その取組でサニーマートさんにも活動について相談させてもらおうと思っていた。お世話になると思う。

【森田会長】

減塩については高血圧予防ということで、高知市薬剤師会さんと高知県栄養士会も一緒に別のイベントで活動させてもらったこともある。最近、高知市薬剤師会さんもお薬手帳の活用など PR されている。コラボしてするなどはどうか。

【寺尾委員】

お薬手帳については医師会・歯科医師会が中心となって、薬剤師会・看護協会の四師会で高知市がモデル地区になり、来年度から補助事業で、まだ委員会が行われていないので、はっきりとはいけませんが、健康情報の一元化について取組む。ある程度お薬手帳は定着しているので、それに加えて他の健康情報についても、今後も PR していきたい。

【森田会長】

今日も皆さんに発言していただきながら、あっという間に時間がすぎたように思う。前半は高知市いきいき健康チャレンジについて、後半は各団体の健康づくりの取組を共有、意見交換ができた。それぞれから、すてきなご意見をたくさんいただいたので、ご意見を参考に今年度も取組んでいきたい。すぐには発言できなかったけど、あとで思いついた意見などあれば、後日事務局にお伝えいただきたい。ご協力ありがとうございました。

4 事務連絡

5 閉会